

2024年6月11日

空海の筆跡再び ～香川大学がAIを使って再現～

2024年9月15日に高松市総合体育館で開催される「第70回記念全日本東西対抗剣道大会」の大会ポスターの表題において、平安時代の能書家で、「三筆」と称される弘法大師空海の筆遣いを、創造工学部・岡崎慎一郎教授らが再び人工知能(AI)を使って再現しました。

現存する史料をAIに学習させ、2つのAIを競わせる「GAN(敵対的生成ネットワーク)」という手法を採用。一方が空海の書跡に近い文字を生成し、もう一方がその精度の判定を繰り返すことで、次第に空海の筆致に近づけていきました。

善通寺市生まれ、真言宗の開祖として広く愛される空海だけあって、昨年香川大学広報誌「かがアド」38号の表紙デザインで筆跡再現に成功した際には、多くの注目を浴びました。第2弾となる今回は、第32回大会から2回目38年振りの香川県高松市開催となる本大会に、空海の書で花を添えられればと考えています。

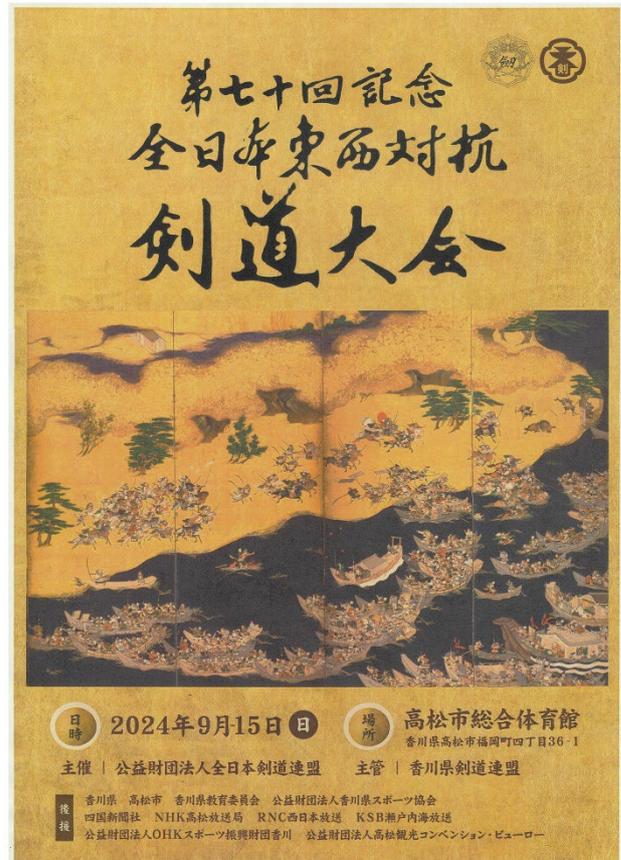
つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

■表題

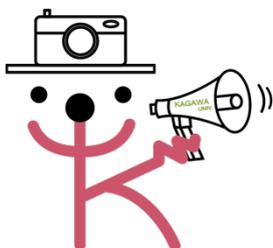
制作：創造工学部・イノベーションデザイン研究所
教授 岡崎慎一郎
大学院創発科学研究科 博士後期課程
1年 我部山喜弘
監修：教育学部 書道研究室 教授 小西憲一

■表紙デザイン

源平合戦図屏風(所蔵：香川県立ミュージアム)
屋島を舞台とする源平屋島合戦の様子を描いた屏風。左から①扇の的、②悪七兵衛の綴引、③義経の弓流し、という物語中の場面が、同じ画面上に時間を追って展開されている。
左下から右上へと向かう線を軸として、金地の屋島と群青の海、陸の源氏と沖の平家という対比が鮮やかである。
紅白戦や東西対抗戦の起源は源平合戦ともいわれており、本大会を象徴するのに相応しい絵となっている。



空海の筆跡を再現して制作した大会ポスター



➤ お問い合わせ先
香川大学 広報室 若井、宮内
TEL:087-832-1027
FAX:087-832-1115